

朴前大統領を逮捕

収賄などの容疑 韓国史上3人目

〔ソウル＝上野実輝彦〕 韓国の朴槿惠前大統領（六五）の友人による国政介入事件を捜査しているソウル中央地検は三十一日未明、収賄などの容疑で朴前大統領を逮捕した。韓国で大統領経験者の逮捕は、一九九五年の盧泰愚氏、全斗煥氏に次ぎ三人目。前大統領の逮捕は、五月九日に投開票の次期大統領選で、野党陣営優位をさらに後押しするとみられる。

地検は朴容疑者への任意の事情聴取を経て二十七日、逮捕状を請求。ソウル中央地裁が発付を認めた。



ソウル拘置所に向かう朴槿惠前大統領
31日未明（聯合・共同）

事件では朴容疑者に対し▽韓国の財閥に圧力をかけ、友人の崔順実被告（六〇）が実質支配する財団へ七百七十四億ウォ（約七十七億円）を提供させた職権乱用や強要▽サムスングループ内の企業合併を後押しし、見返りに崔被告への支援の形で約束分も含め四百三十億ウォを受け取った収賄―などの疑いがかけられていた。